

一般社団法人日本老年歯科医学会 2021年度第7回理事会議事録

日時：2021年9月13日（月）17：30～20：00

Web開催

出席者

水口俊介、羽村章、片倉朗、上田貴之、池邊一典、小野高裕、山崎裕、小笠原正、菊谷武戸原玄、佐藤裕二、吉田光由、松尾浩一郎、河相安彦、竹島浩、大神浩一郎、石黒幸枝、柏崎晴彦、高橋一也、岩佐康行、平野浩彦、弘中祥司、米山武義、阪口英夫、糸田昌隆、服部佳功、菅武雄、大野友久、會田英紀、渡邊裕 各理事（30名）

山根源之 監事（1名）

金澤学、竜正大、高橋利士、中根綾子、佐川敬一郎、吉見佳那子、古屋純一、高橋賢晃、太田緑、伊藤誠康、田村暢章、大久保真衣、小原由紀、若杉葉子、森田一彦、遠藤真美、貴島真佐子、堀一浩、赤松那保、尾崎研一郎 各幹事（20名）

小正裕、櫻井薫、福島正義、山根瞳 各名誉会員（4名）

欠席者

森戸光彦 監事（1名）

岡田和隆、山添淳一、川本章代、田中恭恵、石川健太郎、尾崎研一郎 各幹事（6名）

I. 開会の辞

羽村副理事長が開会の辞を述べられた。

II. 理事長挨拶

水口理事長より、新型コロナウイルス感染症に注意をしながら学会活動を行っていただきたい旨挨拶があった。

III. 議長選出

定款に従い、水口理事長が選出された。

IV. 確認および報告事項

1. 定足数の確認〔定款第32条、理事現在数（30名）の2分の1以上の出席〕

上田理事より24名（理事会開始時点）の理事が出席しており、定数を満たしていることが確認された。

2. 2021年度第4-6回理事会議事録（資料確認）

水口理事長より、資料の通り議事録の確認が行われた。

3. 第32回学術大会開催報告 寄付の件等含む

河相大会長より、資料の通り6月に開催され、1660名が参加者したことが報告された。1万円程度の黒字決算となる予算収支案が報告された。2名の海外演者から謝礼を全額高齢者関連の団体へ寄付したいとの申し出があり、大会長の方で事務局と相談しながら寄付先検討することが報告された。

4. 第33回学術大会準備状況

小野大会長より、資料の通り、HPが公開され、募集要項や企画演題について説明された。理事会、総会および表彰の時間が資料の通り確認された。各種審査に関しては今後委員会と検討することとした。

5. 第34回学術大会準備状況

菊谷大会長より、2023年6月15-18日、会場はパフィシコ横浜ノースを予定し、ハイブリット開催を予定していることが説明された。

6. 理事会および常任理事会の年間スケジュールと運営について

上田理事より、資料の通り年間スケジュールが確認された。学会期間中の常任理事会・理事会・総会の開催方式は、基本的には学術大会の開催方式に合わせる旨、代議員の参加に対する著しい不利益が生じないように対策を講じていくことが説明された。

7. 研修会実施計画（資料確認）

水口理事長より資料の通り、5つの研修案が報告された。

8. 投稿規定改正の件

小野理事より、資料の通り、オンライン版のみカラー印刷という選択肢が増えたことが報告された。

9. 「老年歯科医学」について

小野理事より、「The elderly」は使用しないようにする方向が報告された。

「老年歯科医学 別冊 電子ジャーナル」について、「老年歯科医学 supplement 号」(J-STAGE)への掲載移行にあたり、以下のように報告された。

- ・英文タイトルと英文著者名：出版済み論文への遡及を含めて、すべて付ける。
- ・英文抄録

一般論文：あり

委員会論文：委員会に一任

認定医症例レポート：なし

ただし、すでに出版済み論文への遡及はしない。

10. 口腔乾燥症の新分類（案）について

戸原理事より、口腔乾燥症の新分類の資料が提示され、確認された。

11. 優秀奨励論文賞“LION AWARD”に関する協定書 更新（資料確認）

水口理事より、資料の通り協定書が更新された旨、報告された。

12. 理事長・理事・代議員選挙の運営（開票作業）について

上田理事より、代議員選挙が行われる可能性があり、資料の通り電子投票の準備を進めている旨が説明された。

13. 日本老年学会報告

上田理事より、名誉会員の規則・賛助会員・理事の数・高齢者の定義・高齢者の運転・学会の英語名に関する検討がなされている旨が報告された。

14. 「認知機能と口腔機能に関する医科歯科連携研究プロジェクト」日本補綴歯科学会と日本老年精神医学会とのプレスセミナー

上田理事より、資料の通りプロジェクトの説明がされた。プロジェクトのアンケートなどは学会でも内容を精査して対応していくこととした。また、認知機能と口腔機能の相関に関する探索的研究プロジェクト(ECCO)に関して報告があり、当学会の関与に関して協議された。

15. 理事長報告

水口理事長より、日本歯科専門医機構での専門医の名称はスペシャルニーズと老年歯科専門医という二つの案と研修に関する資料を提出したことが報告された。

V. 協議事項／重要な報告含む

1. 「脳卒中患者への医科歯科連携ガイドライン」の編纂について

戸原理事より、資料のとおりガイドラインの編纂を学会として行うことが承認された。

2. 「老年歯科医学用語辞典」執筆依頼について

水口理事長および大神理事より、資料を基に個々の用語に対して執筆者名を記載しない形で編纂することが提案され、承認された。

3. 口腔機能低下症に関するワークショップについて

池邊理事より、資料の通り、事前学習が必要なWSについて説明され、実施することが承認された。歯科衛生士の参加も認める方向とした。

4. 学術大会 査読に運用について

上田理事より、資料の通り学術大会における査読の分担が説明され、服部理事より、資料の通り研究倫理指針に関して説明され承認された。資料中の「嫌疑」は「疑義」に修正されることとした。河相理事から、研究機関に属さず、倫理申請が必要な会員に対する相談の受け皿を検討するように提案があり、水口理事長が服部理事と糸田理事に検討するよう指示した。

VI. ディスカッションタイム

羽村理事より、来週の日本歯科医学会への登録の依頼があった。

山根源之監事、山根 瞳名誉会員、櫻井名誉会員、小正名誉会員、福島名誉会員よりご挨拶、御意見をいただいた。

閉会の辞

片倉副理事長が閉会の辞が述べられた。